

私も知りたい！

エネルギーの

いろは

疑問が晴れると、気持ちいい。知識が増えると、心地いい。
あなたが感じるエネルギーの「?」、わかりやすくお答えします。

今回の
ギモン

電気料金が気になるんだけど？

?

毎月の電気料金、高く感じるんだけど実際はどうなの？

北陸電力の電気料金は、日本一安い電気料金になっています。(下図1参照)

この日本一安い電気料金を支えるひとつが、水力発電です(右下図2参照)。2014年度の発電電力量構成比では、水力25%、石炭65%、石油8%、新エネルギー2%となっています。この水力比率は日本に10ある電力会社で一番高く、10社平均の9%と比べても、抜き出しています。北陸地域は水資源に恵まれており、明治時代から水力発電に力を入れてきました。水力発電の強みは、燃料を海外から調達する必要がなく、一度発電所を建設すれば長い間安定して、かつ安価に電力を作ることができることです。

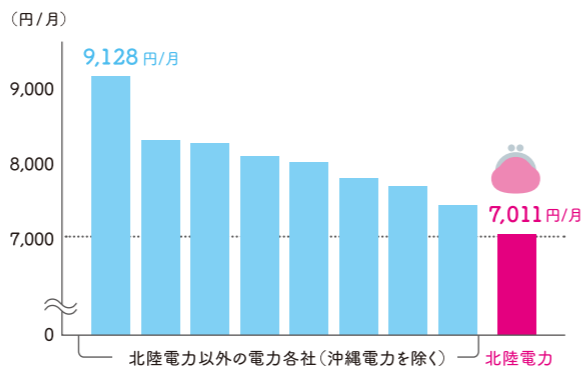
また、もうひとつが石炭火力発電です。石炭火力は、燃料の調達にかかるコストが比較的安定して安いことが特徴です。

東日本大震災以降、原子力発電が停止している分を、石炭火力でカバーすることで、北陸電力は電気料金を値上げせず、日本一安い電気料金をなんとか維持しています。

私たち電力会社にとって大切なことは、安全であることを大前提に、できるだけ安い電気料金で、毎日いつでも電気をお使い頂けて、環境にやさしいことです。

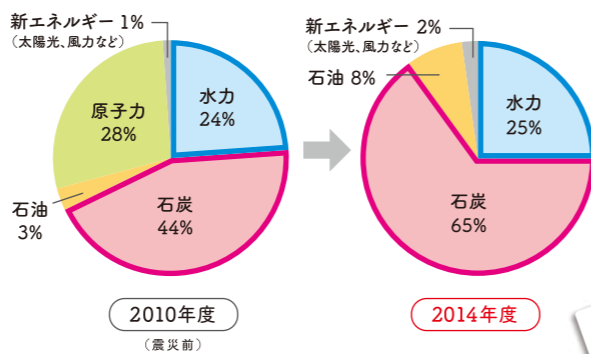
北陸電力は水力、火力、原子力、太陽光などをバランスよく組み合わせて、電気のお届けに努めています。

図1 一般家庭用電気料金の各社比較



【2015年7月分(当社試算値、従量電灯のモデルによる)】
・基本料金の場合: 従量電灯B、契約電流30A、使用量300kWh/月
・最低料金制の場合: 従量電灯A、使用量300kWh/月
・初回口座振替割引額(北海道電力、東北電力除く)
・再生可能エネルギー発電促進賦課金、燃料費調整額および消費税等相当額を含む

図2 北陸電力の発電電力量構成比



?

勝間和代さんにも聞いてみましょう。

私にとって、
便利な電化製品は
かせません。

こんにちは、勝間和代です。実は私、電化製品が大好きです。父親がテープレコーダーのヘッドケースを作る小さな工場を経営していたので、生まれた時から家には電化製品があふれていました。住んでいた葛飾区の長屋で「一番先に洗濯機を買った」というのが当時の父の自慢でした。

その影響からか、私には「電気は生活を豊かにしてくれる、自分たちを助けてくれるもの」という意識にあふれています。たとえば食器洗い。人手だと1日10分くらいかかりますが、なんと10分というのは、1日の起きている生活時間のおよそ1%です。これを自動食器洗い機で行えば、人が行うよりも少ない水と洗剤でピカピカになります。

その10分間を使ってよりおいしいご飯を作ったり、家族との団らんにあてることができるからうれしいですね。

工場では、電気代が高くなると機械の稼働コストが増え、人件費を削減しないといけなくなります。そう、人と機械が協同で作業を行っている工場では、経営していくために、片方の賃金が高くなると、もう一方の賃金にしわ寄せがいくってしまうのです。

経済評論家
勝間和代さん
(かつま・かずよ)



1968年東京都生まれ。少子化問題、雇用問題、ワークライフバランス、ITを活用した個人の生産性向上など幅広い分野で発言しており、若年層を中心に高い支持を受けている。著作も多く累計発行部数は500万部を超える。

生活費も同じで、生活を支える電気代が上がると、その分他の何かの消費を抑えることになります。それは食費かもしれないし、お小遣いかもしれません。でもそうすると、その分だけきっちりと景気が悪くなり、私たちの給与や年金にダイレクトに影響を及ぼします。

だからといって生活や賃金の安定だけを考えて、日本や地球の環境破壊をしてしまったら本末転倒です。環境に優しく、私たちの生き方や働き方にも優しい発電方法が必要です。

私は毎日忙しく過ごしていますが、料理もします。その時、キッチン家電は簡単に温度や、遠火・近火などの調節ができます。素人の私でも、玄人はだしの料理ができてしまうのです。そして、それをみんなにふるまったときのおいしそうな顔をみるのが大好きです。

それもこれも、安くて安定した電気があるからできていくことですので、それをありがたいと思いながら、楽しみたいと思います。

みなさんもぜひ、生活、働き方、そして自分の好きなものを支えている電気を再確認してみてください。

皆さまの声

読者の皆さまからいただいたご意見をご紹介します。

前号の「エネルギーのいろは」を読んで>>>>>

再生可能エネルギーについて「一長一短」があるという結論は本当によく分かりました。(50代/女性)

これからの電力はどうなっていくのか気になります。原発も必要かとも思いますがやはり安全性が気になります。(70代/男性)

原子力は確かに不安…だけれども、再生可能エネルギー1本でやるのも無理ですね。やはりバランスが大切と改めて感じました。(30代/女性)